

地域科学特別演習Ⅰ

8 units (compulsory) 1st-year(whole year), 2nd-year(whole year)

Shogo Hirai · PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Target) 「景観分析・地域分析の歴史地理学的研究」の下に、個別研究テーマに取り組む。

Outline) 歴史地理学的視点に立つ景観分析・地域分析 (GIS 分析を含む) にもとづく修士論文の作成に向けて指導する。具体的には、研究計画(プロポーザル)をもとに、研究テーマに関する文献研究・事例研究を通じて地域分析のための方法論を構築するとともに、調査対象地域での研究手法の妥当性・有効性について検討する。その上で、対象地域における調査結果の報告を行うとともに、分析結果について指導・助言する。研究成果については、学会等での発表に向けた指導を行うとともに、研究成果報告書や修士論文としてまとめるべく指導する。

Keyword) 歴史地理学, GIS, 景観分析, 地域分析

Relational Lecture) “空間情報特論 A”(0.5), “空間情報特論 A 演習”(0.5)

Goal) 本授業の到達目標は、歴史的な空間科学として、GIS(地理情報システム)等を活用した歴史地理学的研究課題・手法の下に行う分析結果の知的成果を、修士論文として作成する能力を育むことにある。

Schedule)

1. 研究テーマ・課題の設定
2. 研究テーマ・課題に関する文献研究と報告
3. 研究対象地域および関係資料についての報告と検討 < 中間報告の実施 >
4. 研究計画(プロポーザル)の作成(必要に応じて修正)
5. 関連データの収集と検証
6. 収集データの分析
7. 分析方法の検証 < 中間報告の実施 >
8. 分析結果にもとづく現地調査(必要に応じて適宜)
9. 分析結果・調査結果の検証 < 中間報告の実施 >
10. 補足資料の収集ならびに補足調査の実施
11. 研究成果報告(修士論文)の執筆作成
12. 研究成果(修士論文)の中間報告と指導
13. 研究成果報告(修士論文)の提出
14. 研究成果報告(修士論文)についての審査・講評
15. 授業の総括

Evaluation Criteria) 本授業は演習形式で行い、受講学生には発表(学会を含む)を課す。授業への取組姿勢や質疑内容、発表内容、レポート・論文(学会誌を

含む)等により、評価を行う。

Re-evaluation) 再試験等は実施しない。

Textbook) なし。授業時に必要なテキスト・資料については適宜指示する。

Reference) 有蘭正一郎ほか編『歴史地理学調査ハンドブック』古今書院, 2001年, ¥2,800.

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218091>

Contact)

⇒ Hirai (2116, +81-88-656-7159, hirai@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL